

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	兵庫県	事業実施主体	兵庫県、朝来市	地域再生計画名	兵庫県、朝来市「あなたが好きなまち・朝来市計画」
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	地域再生計画評価委員会 会長 金子哲朗		

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標の達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度			指標総数	達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	世帯数の増加	12,374世帯	H26	12,387世帯	H30	12,353世帯	12,400世帯	R2	×	4	2	H30年度の世帯数は12,353世帯となっており、減少傾向にある。最終年度までに47世帯の増が必要なことから、引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指していく。
	指標2	企業の本地区への進出	1企業	H26	3企業	H30	8企業	5企業	R2	○	4	2	既に最終目標値を達成している。
	指標3	林業振興と森林整備の促進(素材生産量の増加)	16,762m3	H26	29,362m3	H30	29,396m3	29,362m3	R2	○			既に最終目標値を達成している。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	観光客入込客数	2,618千人	H26	2,667千人	H30	2,278千人	2,700千人	R2	×			観光客入込客数は、減少傾向に推移している。観光交流キャンペーン事業など、独自の取り組みとのさらなる連携を図り、目標達成を目指す。
	指標2												

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度（H30）	最終実績見込み	
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	782m	444m	782m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、57%と若干の遅れが伺えるが、R1年度に計画整備延長に近づくことが見込まれるため、引き続き、計画に則した整備を目指していく。
	林道整備事業（整備延長）	5,490m	1,035m	4,700m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、約19%と遅れが伺えるため、必要に応じ、計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。
その他の事業					
計画外で独自に実施した事業	朝来市未来カフェ事業	朝来市による支援事業	朝来市での起業やものづくりの検証や相談を行いながら、暮らし方の提案を行う未来カフェ等を実施する。		
	移住推進支援事業		地域ぐるみで移住者の受け入れる活動を推進するため、地域の活動経費を助成する。		
	あさごらボ事業		市民活動からコミュニティビジネスにつなげるための学びの場づくりを行う。		
	企業誘致促進事業		雇用の創出と経済の活性化を目的として、市内への企業誘致活動や市内既存企業の設備拡大などを進める。		
	観光交流キャンペーン事業		観光等による交流人口の増加や観光産業の振興、地域の活性化などに向けて、様々な観光PR活動を展開する。		
	観光創生事業		日本遺産認定後の活用に向けた新たな集客戦略を図るための調査などを行うとともに、インバウンド観光への取組を進める。		
	特産物振興事業		岩津ねぎや黒大豆、コウノトリ米など特産物のブランド化を進め、生産拡大とPRを実施することで販路の開拓・拡大を図り、地域農業の振興と都市住民との交流による地域の活性化を推進する。		
	夜久野高原活用事業		夜久野高原において、民間事業者と連携して岩津ねぎや黒大豆など農業生産や6次産業化を進める。また、安定した野菜等の生産に向けてハウス栽培を推進し、設置費の一部を支援する。		
	担い手総合支援事業		後継者不足等で農地や水路等の農業資源の保全が難しくつつある現状を踏まえ、地域が一体となり営農活動を行う集落営農組織、大規模に営農を行う認定農業者の育成・支援を推進するとともに、定年退職後の帰農者など意欲ある担い手としての育成を支援し、農業の多様な担い手の確保を推進する。		
	木質バイオマス発電活用事業		林業従事者の高齢化が進む中で、若者技術者を確保し、安定的な林業経営を維持する。県・市・関西電力などで進めている木質バイオマス発電事業において、森林保全や雇用促進など多方面に活用していく。		
森林環境保全整備事業	農林水産省による支援事業	森林整備及び作業道等の林内路網整備を実施する。			
機能回復整備事業		花粉症対策苗木を用いた皆伐・再造林を推進し、森林の生産力の回復、増進する。			
針広混交林整備事業	兵庫県による支援事業	増加しつつある施業放棄森林を部分伐採し、その跡地に広葉樹を植栽し、風害に強く、水土保持機能の高い森林へ誘導する。			

④評価方法 中間評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行う。

⑤中間評価の公表方法 兵庫県のホームページに掲載

⑥計画全体の総合評価 本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に行うことにより、地域の道のネットワークを整備し、交流拠点を結ぶ新たなネットワークを構築し、地域間の交通ネットワークの構築、新しい人の流れをつくる移住の促進、産業振興と雇用促進を図ることを目的としている。なお、指標1の世帯数の増加については、現時点で減少傾向であるが、少しでも人口減少に歯止めがかかるよう、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。

⑦今後の方針等	中間評価結果の反映状況		有りの場合その具体的内容
	地域再生計画の見直し（有・無）	令和2年度交付金要望額への反映（有・無）	
		有りの場合の増減額 千円	計画上の道路整備を行うことで、地域間のネットワークを強化し、目標達成を目指していくが、事業進捗状況が遅れている。このため、中間評価の結果を踏まえ、計画を一部変更するとともに事業期間を1年延伸する。

⑧今後の方針等に対する対応

- 軽微な変更報告に基づき、計画期間の1年間延長を申請する。
- 令和2年度計画事業費
 - ・市道「物部伊由市場線」 ¥23,194千円（うち交付金¥11,597千円）
 - ・林道「須留ヶ峰線」 ¥180,000千円（うち交付金¥90,000千円）
 - ・林道「千ヶ峰・三国岳線」 ¥180,000千円（うち交付金¥90,000千円）
- 令和3年度計画事業費（計画期間の延長）
 - ・市道「物部伊由市場線」 令和2年度の残事業費
 - ・林道「須留ヶ峰線」 ¥199,014千円（うち交付金¥99,507千円）
 - ・林道「千ヶ峰・三国岳線」 ¥137,588千円（うち交付金¥68,794千円）